

神戸大学校友会ニュースレター

いつも校友会の活動にご支援ご協力いただきありがとうございます。

— インフォメーション —

【1】トピックス

- (1) 第17回神戸大学ホームカミングデイを開催
- (2) 第20回留学生ホームカミングデイを開催
- (3) 京阪神の3大学シンポジウムを開催
- (4) 次期五輪を目指すフィギュアスケーター 壺井 達也さん
- (5) 神戸大学クラブ (KUC) 講演会ご報告

【2】お知らせ

- (1) 異分野共創型修士プログラム KIMAP(Kobe University Interdisciplinary Master Program)を設置
- (2) 「環境報告書 2023 ダイジェスト版」を掲載
- (3) SDGs 推進室と日本コンベンションサービス株式会社は SDGs 推進に関する連携協定を締結
- (4) 神戸大学 (食資源教育研究センター) の牛2頭が全国但馬牛枝肉共進会で受賞
- (5) 神戸医療産業都市一般公開に参加
- (6) 新規医薬品の経済的な効果の推定に関する共同研究を開始
- (7) 第34回山口誓子学術振興基金 公開講演会を開催
- (8) 神戸大学起業部 FairMed と公益財団法人大阪産業局は「Growing Tech サポートプログラム」に関する協定を締結
- (9) 観光リカレントプログラムを開始
- (10) 水素・未来エネルギー技術研究センターが設置
- (11) 学生サークル「えこふる」がオリジナル環境かるたを用いた出前授業を実施

【3】研究ニュース

- (1) 神戸大学医学部附属病院小児外科で小児ロボット支援下副腎腫瘍摘出術と胆道拡張症手術を実施
- (2) 太陽系、10,000 光年も遠くで誕生か? -元素組成から探る太陽系誕生地と

惑星系多様性の謎-

- (3) 阪神・淡路大震災を原点に起業の道へ シナジーマーケティング株式会社
会長 谷井等さん
- (4) 心臓不整脈に対する新たなオンライン診療体制 ～小型心電計の郵送、リアルタイムの心電図モニタリングを活用した新たなオンライン診療体制の安全性、有用性について～

【4】受賞・受章

- (1) 令和5年秋の叙勲受章者が発表
- (2) 大阪府・兵庫県主催の「スタートアップチャレンジ甲子園」で神戸大学起業部 HIM がシニア部門で最優秀賞 (Best Innovative Award) を受賞

【5】イベント等情報

- (1) イベント情報

【1】トピックス

(1) 第17回神戸大学ホームカミングデイを開催

第17回神戸大学ホームカミングデイを10月28日に開催しました。

2006年から始まったホームカミングデイも今年で17回目となります。さわやかな秋晴れの空の下、今年は各学部の懇親会や学生企画のハロウィンイベントなども復活しての開催となりました。当日は、オンラインも含め、卒業生や地域の方、教職員等延べ約2,400名が参加し、旧交を温め合うとともに、迎えた在学学生や教職員と世代を越えて交流しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_11_14_02.html)

(2) 第20回留学生ホームカミングデイを開催

10月28日に、第20回目の留学生ホームカミングデイが六甲ホールを会場とし、対面とライブ配信により開催されました。司会は、神戸大学修了留学生のヘリニャン・アンドレイ・マリヤンさん(人文学研究科・ルーマニア出身)と在学留学生バルジンニャム・ハジドツェツェクさん(経営学部・モンゴル出身)の2人が務め、バイリンガル(日・英)で行われました。ライブ配信は、初めての試みで、在学留学生の協力によって、実現されました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_11_08.html)

(3) 京阪神の3大学シンポジウムを開催

～産学連携による脱炭素社会の実現テーマに

神戸大学など京阪神の3国立大学（神戸、京都、大阪）の総長・学長が経済界と討論する「3大学シンポジウム」（日本経済新聞社、日本経済研究センター主催）が11月1日、大阪市内で開かれました。テーマは「関西の産学が創る脱炭素社会」。神戸大学の藤澤 正人学長、京都大学の湊 長博総長、大阪大学の西尾 章治郎総長、川崎重工業の橋本 康彦社長、紙パック入りのミネラル水販売を手掛けるハバリーズ（京都市）の矢野 玲美社長が、脱炭素に向けた産学の役割や連携などについて議論しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_11_13_01.html)

(4) 次期五輪を目指すフィギュアスケーター 壺井 達也さん

「文武両道」で注目されることが多い。世界を舞台に活躍するフィギュアスケーターで、神戸大学国際人間科学部3年の壺井 達也さん。「両方を十分に極められてはいないですが」と照れくさそうに話す笑顔が印象的だ。

フィギュア王国・愛知県出身。スケートを習い始めた姉に付いていき、3歳ごろからリンクに通うようになった。小学生時代から頭角を現し、中学時代には海外の大会にも出場し始めた。浅田 真央選手らも在籍した中京大学附属中京高校（名古屋市）時代には、1年生で全日本ジュニア選手権優勝。神戸大学入学後は、2022年の世界ジュニア選手権で銅メダルを獲得し、同年のシニア転向後も国際大会で上位に食い込んでいる。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/feature/student0004.html>)

(5) 神戸大学クラブ (KUC) 講演会ご報告

恒例の11月の講演会(11月2日開催)は、楠公会館において、講師の神戸大学名誉教授の滝川 好夫氏から、「どうなる日本の経済～質問歓迎型講演会」と題してお話しいただきました。当日は凌霜会、文窓会、くさの会、六篠会、KTC、神緑会から20名が参加しました。

参加者から、低迷する日本経済の再生はどうすればいいかとの質問があり、講師から、この30年間の日本経済の停滞の原因は、投資不足で稼ぎが少なく、稼ぎが少ないと投資不足になるという負の連鎖に陥っているためであり、今後、無形資産投資、特に社員教育などの経済的競争能力を強化する必要があると指摘されました。



【2】お知らせ

(1) 異分野共創型修士プログラム KIMAP(Kobe University Interdisciplinary Master Program)を設置

神戸大学大学院法学研究科、経済学研究科、経営学研究科の3研究科が連携し、学際的かつ国際的な視野を持ち、複雑な社会問題にも対応できる人材を育成することを目的として、神戸大学異分野共創型修士プログラム KIMAP(Kobe University Interdisciplinary Master Program)を設置しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_11_02_02.html)

(2) 「環境報告書 2023 ダイジェスト版」を掲載

9月28日に公表した2023年版の環境報告書について、環境報告書と併せて、関係者配布用のダイジェスト版の環境報告書を例年発行していましたが、環境保全の観点からペーパレス化することとし、今年から本ホームページで公開することになりました。ぜひ御一読下さい。

2023年版の環境報告書は、「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」に基づき、令和4年度（2022年4月から2023年3月）における神戸大学の主なキャンパスでの環境に関する活動の成果を取りまとめたものです。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_11_02_01.html)

(3) SDGs 推進室と日本コンベンションサービス株式会社は SDGs 推進に関する連携協定を締結

神戸大学 SDGs 推進室と日本コンベンションサービス株式会社は、11月9日に「SDGs 推進に関する基本協定」を締結しました。

両者は本協定を通じ、2025年日本国際博覧会（以下、大阪・関西万博）に向けて、SDGs 普及や取り組みの支援に関して、連携して取り組んでいきます。具体的な内容は以下の通りです。

1. 国内の大学の学生や教員に対する SDGs 普及啓発や取り組みの支援
2. 2025年大阪・関西万博に関する情報交換
3. その他、必要と認められること



○詳細は、こちらをご覧ください。

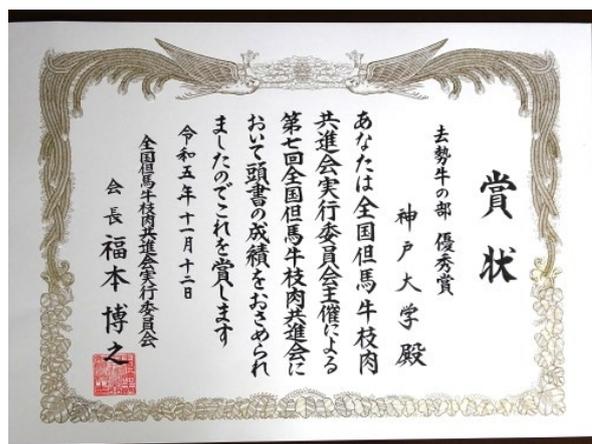
(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_11_10_1.html)

(4) 神戸大学（食資源教育研究センター）の牛2頭が全国但馬牛枝肉共進会で受賞

11月12日、神戸市中央卸売市場西部市場にて、第7回全国但馬牛枝肉共進会が開催されました。

本大会は4年に1回開催される全国区の枝肉共進会で、県内外から100頭の牛が出品されました。

神戸大学（食資源教育研究センター）はこの大会に2頭の去勢牛を出品し、優秀賞1席と優秀賞5席を受賞しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_11_13_02.html)

(5) 神戸医療産業都市一般公開に参加

神戸大学統合研究拠点では、11月3日にポートアイランド地区で開催された「神戸医療産業都市一般公開」に参加しました。神戸大学では、統合研究拠点と神戸バイオテクノロジー研究・人材育成センター（BTセンター）での研究に関する講演会や神戸大学クイズラリーなどを実施しました。

当日は天候にも恵まれ、神戸市内のみならず、市外、そして県外からも約1,300人もの方々が参加されました。

神戸大学企画の「講演会」では、ポートアイランド地区にある統合研究拠点とBTセンターで実施している研究について講演を行い、約100人の方々が参加されました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_11_14_03.html)

(6) 新規医薬品の経済的な効果の推定に関する共同研究を開始

日本システム技術株式会社（以下「JAST」）と神戸大学大学院経営学研究科の原 泰史准教授は、JAST のメディカルビッグデータを用いて、新規医薬品の経済的な効果の推定に関する共同研究を開始しました。

○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_11_14_01.html)

(7) 第34回山口誓子学術振興基金 公開講演会を開催

9月23日神戸大学百年記念館「六甲ホール」にて、第34回山口誓子学術振興基金公開講演会を開催し、学外から約80名の方が参加しました。

本講演は、俳人の故山口 誓子・波津女ご夫妻から寄贈いただいた基金により、本学が日本の俳句研究の拠点の一つとして運営しているものです。

今年は、秋田国際俳句ネットワーク会長・「天為」同人蛭田 秀法先生による『五・七・五の世界』－日本語の魅力－と題したご講演が行われました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_11_17_01.html)

(8) 神戸大学起業部 FairMed と公益財団法人大阪産業局は「Growing Tech サポートプログラム」に関する協定を締結

神戸大学起業部 FairMed（代表：福田純礼、神戸大学医学部4年）と公益財団法人大阪産業局は10月24日に「大阪市カーボンニュートラル（CN）等新技术ビジネス創出支援事業における個別支援に関する協定」を締結しました。

<Growing Tech サポートプログラム>

大阪市と大阪産業局が主催となり、2030年までにカーボンニュートラル関連分野の新技术を活用した事業開発に携わる大学研究者やスタートアップ等を対象に、大企業やベンチャーキャピタル（VC）とのマッチングやビジネス化支援までの取り組みをサポートするプログラムです。

本協定を通じ、FairMed は大阪産業局からの個別支援（150万円）を受けて、ヘルスケア分野における“血管内手術を補助する AI 開発事業”の実現に向けて加速してまいります。

○詳細は、こちらをご覧ください。

(<http://www.innov.kobe-u.ac.jp/entre/news/2023/1117.html>)

(9) 観光リカレントプログラムを開始

神戸大学大学院国際文化学研究科は、「ローカル・グローバルと公・民をつなぐ観光リカレント教育」を開設し、11月27日から受講生を募集します。パンデミックが一段落してインバウンド需要が回復し、全国各地で海外からの観光客がみられるようになってきました。また、政府の観光政策にそって全国各地で設置されている DMO（観光地域づくり法人）や、政府・自治体の観光関連部局では、官民の人事交流が進んでいます。

そのような動向をふまえ、2023年度は、地域と世界、パブリックとプライベートを架橋しうるような人材を養成するカリキュラムとなっています。神戸大学の教員に加え、旅行、運輸、通信、マスコミ、シンクタンクや DMO で最前線・最先端を担っている方々の講義・演習、英語プレゼンテーション・コミュニケーションに関する実習、京都府南丹市美山町を舞台にした「持続可能な観光」に関するフィールド学修が提供されます。



(提供：一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会)

○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_11_24_02.html)

(10) 水素・未来エネルギー技術研究センターが設置

未来の水素エネルギー源として、再生可能エネルギー由来のCO₂フリー水素(グリーン水素)の製造、貯蔵、輸送及び利活用などに関する新技術の確立を目指し、それらの基盤技術及び社会実装を含めた先端技術開発のための研究推進を目的として、2023年11月1日付けで「水素・未来エネルギー技術研究センター」が設置されました。

カーボンニュートラルの持続的社会実現に向け、兵庫県・神戸市・民間企業等との産官学連携を通じ、先端技術研究・国際学術研究・若手人材育成への新展開を目指します。

○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_11_24_01.html)

(11) 学生サークル「えこふる」がオリジナル環境かるたを用いた出前授業を実施

神戸大学環境サークル「えこふる」が次世代の地球環境を担う小学生を対象に、「環境かるた食品ロス ver.」を用いた出前授業を実施しました。この活動は、食品ロスに関する講義と、食品や食品ロスに関する文字札・絵札が特徴の、オリジナルかるたを行うことで、遊びながらも食べ物を大切にすることの重要性や環境保全への気づきをもたらすことを目的としています。出前授業は、今後も神戸市内の児童館を中心に実施する予定です。なお、この活動は、神戸大学「学生地域アクションプラン」の支援等を受けて実施しています。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2023_11_27.html)

【3】研究ニュース

(1) 神戸大学医学部附属病院小児外科で小児ロボット支援下副腎腫瘍摘出術と胆道拡張症手術を実施

神戸大学大学院医学研究科外科学講座小児外科学分野の大片 祐一特命准教授らと、同研究科腎泌尿器科学分野、肝胆膵外科学分野、岡山大学小児外科との合同チームは、da Vinci を用いた小児に対するロボット支援下副腎腫瘍摘出術とロボット支援下先天性胆道拡張症手術に成功しました。

小児患者に対するロボット支援手術は普及が進んでいないのが現状ですが、このたびの2例の手術は非常に高い質と安全性のもとに行われ、いずれの患児も術後経過良好で術後約1週間で退院しました。

ロボット支援手術では精緻な手術操作が可能となるため、現在急速に普及していますが、現存の手術支援ロボットは成人仕様であることから、小児に適用するには安全性を担保するために多岐にわたる課題を克服することが必要です。

神戸大学小児外科では、子どもたちにとってよりよい外科治療を提供するために、成人診療科・他医療機関・複数企業と協力連携して、新生児・乳児にロボット支援手術を安全に適応するための機器開発を行うなど、様々な努力を続けています。

○詳細は、こちらをご覧ください。

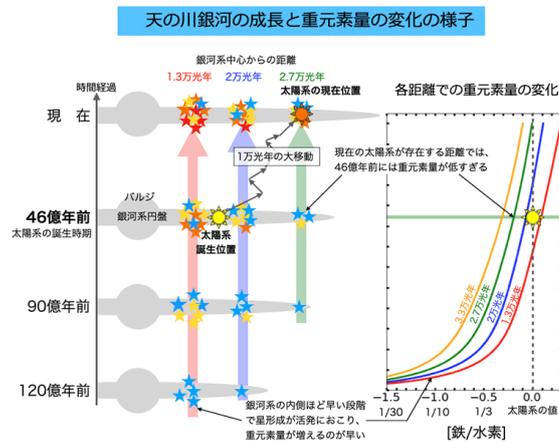
(https://www.kobe-u.ac.jp/research_at_kobe/NEWS/news/2023_11_06_01.html)

(2) 太陽系、10,000 光年も遠くで誕生か？

ー 元素組成から探る太陽系誕生地と惑星系多様性の謎

鹿児島大学天の川銀河研究センター馬場 淳一特任准教授は、神戸大学大学院理学研究科の斎藤 貴之准教授、国立天文台の辻本 拓司助教らと共同で独自の理論モデルを構築し、天の川銀河（銀河系）における主要な元素の循環過程を調べました。その結果、太陽系が約46億年前に、現在の位置よりも銀河系中心に近い場所で誕生したことが明らかになりました。この発見により、太陽系は長い年月をかけて、天の川銀河内を移動しながら進化してきたことが示唆されています。また、我々の研究チームは、この理論モデルに基

づき、天の川銀河全体における惑星材料物質の分布を予測することに成功しました。その結果、天の川銀河の内側では大型の惑星が形成されやすい一方で、外側では水を豊富に含む小さな多数の惑星ができる可能性が示唆されています。この予測は、「銀河系惑星学」という新しい研究分野を開拓する上で重要な第一歩となるでしょう。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/research_at_kobe/NEWS/news/2023_11_14_01.html)

(3) 阪神・淡路大震災を原点に起業の道へ シナジーマーケティング株式会社 会長 谷井等さん

大学3年の冬、阪神・淡路大震災が発生した。1995年1月17日。大学近くのアパートで暮らしていた友人が、火災に巻き込まれて亡くなった。その後の生き方の原点ともいえる出来事だった。

「命はこんなにも突然失われるのか、と衝撃を受けました。友人は、生きてやりたいことがたくさんあったはず。そう思うと、やりたいことはすぐに挑戦しなければ、と考えるようになりました」



シナジーマーケティング 会長 谷井等さん

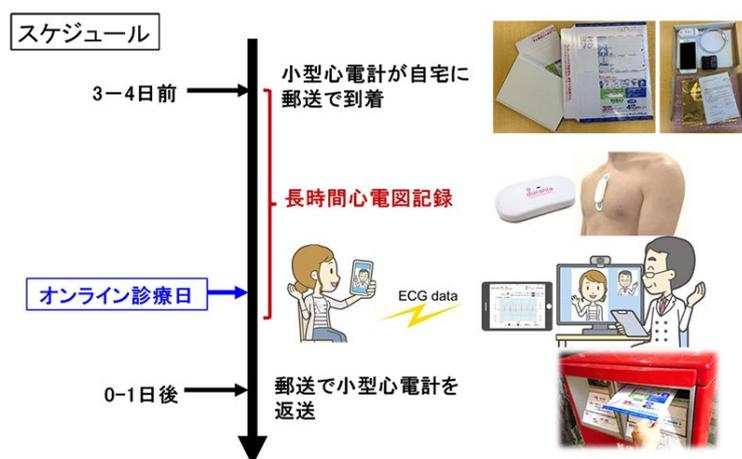
○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/research_at_kobe/NEWS/organization/alumni0002.html)

(4) 心臓不整脈に対する新たなオンライン診療体制

～小型心電計の郵送、リアルタイムの心電図モニタリングを活用した新たなオンライン診療体制の安全性、有用性について～

神戸大学大学院医学研究科内科学講座循環器内科学分野の高見 充特命講師、福沢 公二特命教授、平田 健一教授らの研究グループと、株式会社オプティムは、株式会社 ZAIKEN との共同研究において、心臓不整脈を有する患者に対する小型のパッチ型心電計郵送による長時間心電図検査と、リアルタイムで送信される心電図をモニタリングしながら行う新たなオンライン診療体制の安全性と有用性を確認し、研究成果として報告しました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

(https://www.kobe-u.ac.jp/research_at_kobe/NEWS/news/2023_11_30_01.html)

【4】受賞・受章

(1) 令和5年秋の叙勲受章者が発表

11月3日付で、令和5年秋の叙勲受章者が発表されました。神戸大学の受章者は、以下の方々です。

【瑞宝中綬章】

阿部 泰隆 (神戸大学名誉教授：法学研究科)

加藤 英治 (神戸大学名誉教授：海事科学研究科)

黒田 勝彦 (神戸大学名誉教授：工学研究科)

藤井 進（神戸大学名誉教授：工学研究科）
眞山 滋志（神戸大学名誉教授：農学研究科）
木村 隆一（神戸大学名誉教授：海事科学研究科）

【瑞宝双光章】

海野 興治（元神戸大学社会科学系学部等事務部長）

（2）大阪府・兵庫県主催の「スタートアップチャレンジ甲子園」で神戸大学起業部 HIM がシニア部門で最優秀賞（Best Innovative Award）を受賞

11月12日開催された令和5年度「スタートアップチャレンジ甲子園」（主催：大阪府・兵庫県）で、起業を志す両府県の学生等によるビジネスプランの本選に臨み、神戸大学起業部所属のHIM（代表：高橋 英眞、神戸大学農学部1年）がシニア部門で最優秀賞（Best Innovative Award）を、Plastruclub（代表：森下 日菜子、神戸大学経営学部1年）はサポーター企業よりGAOGAO賞を受賞いたしました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

（ <http://www.innov.kobe-u.ac.jp/entre/news/2023/1114.html> ）

【5】 イベント等情報

（1） イベント情報

令和5年度のイベント等を以下のページに記載しております。

○詳細は、こちらをご覧ください。

（ <https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/event/index.html> ）

★「KU-Net」からのお知らせ

「神戸大学コミュニティネットワーク(KU-Net)」をリニューアルし公開しております。

従来からの、「OB・OG 訪問」の機能に加え、「卒業生からのメッセージ」や「在学生の今」の掲載をしております。また、卒業生等が開催するイベントへの参加申し込み機能も追加しました。

詳しくは、神戸大学コミュニティネットワークホームページ
(<https://www.office.kobe-u.ac.jp/alumni-ku-net/>)でお知らせしています。

また、KU-Net の説明動画を YouTube にアップしておりますので併せてご覧ください。

(<https://youtu.be/ZqHCVW0VsuU>)

是非ご登録ください。

★神戸大学校友会ホームページ

<https://www.org.kobe-u.ac.jp/ku-alumni/>

■支部所属の会員の皆様にもお知らせください

神戸大学校友会事務局

657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学企画部卒業生・基金課内

TEL 078-803-5042 FAX 078-803-5024

E-mail: plan-ku-alumni@office.kobe-u.ac.jp